



つくる、かわる、ミライ。

住信SBIネット銀行

“さよなら、銀行。”～住信SBIネット銀行の挑戦～

2019年6月12日

住信SBIネット銀行株式会社



住信SBIネット銀行

<https://www.netbk.co.jp/>

木村 紀義

取締役 兼
執行役員CTO

nkimura@netbk.co.jp
〒106-6018
東京都港区六本木 1-6-1
泉ガーデンタワー 18F
TEL 03-6229-1040
FAX 03-3582-0358

略歴

1992	電通国際システム株式会社 (現：株式会社電通国際情報サービス)
1998	イー・トレード株式会社 (現：SBIホールディングス株式会社)
2007	住信SBIネット銀行株式会社

2007年9月24日開業 インターネットフルバンキングサービスを提供

会社名 住信SBIネット銀行株式会社

代表者 代表取締役会長 藤田 万之葉
代表取締役社長 円山 法昭

従業員数 488名

株主構成 SBIホールディングス株式会社 50%
三井住友信託銀行株式会社 50%

口座数 **354万口座**

預金残高 4兆8,559億円

(2019年3月31日時点)

おかげさまで

預金も、住宅ローンも、

5兆円を突破!

※預金：2019年4月12日時点での、円および外貨の普通預金・定期預金・仕組預金、SBIハイブリッド預金の合計。

※住宅ローン：2019年4月1日時点での、当社取扱いの各住宅ローンの融資実行額の合計。

私たちが目指すもの（経営理念）



つくる、かわる、ミライ。

全役職員が正しい倫理的価値観を持ち、信任と誠実を旨に行動することにより、日々徳性を磨き、広く社会から信頼される企業を目指す。

金融業における**近未来領域の開拓**と、**革新的な事業モデル**の追求に日々努め、お客さま、株主、職員、社会の発展に貢献する新しい価値を創造する。

最先端のIT（情報技術）を駆使した**金融取引システム**を安定的に提供することにより、**お客さまとの強固な信頼関係**を築き、揺るぎない事業基盤を確立する。



つくる、かわる、ミライ。

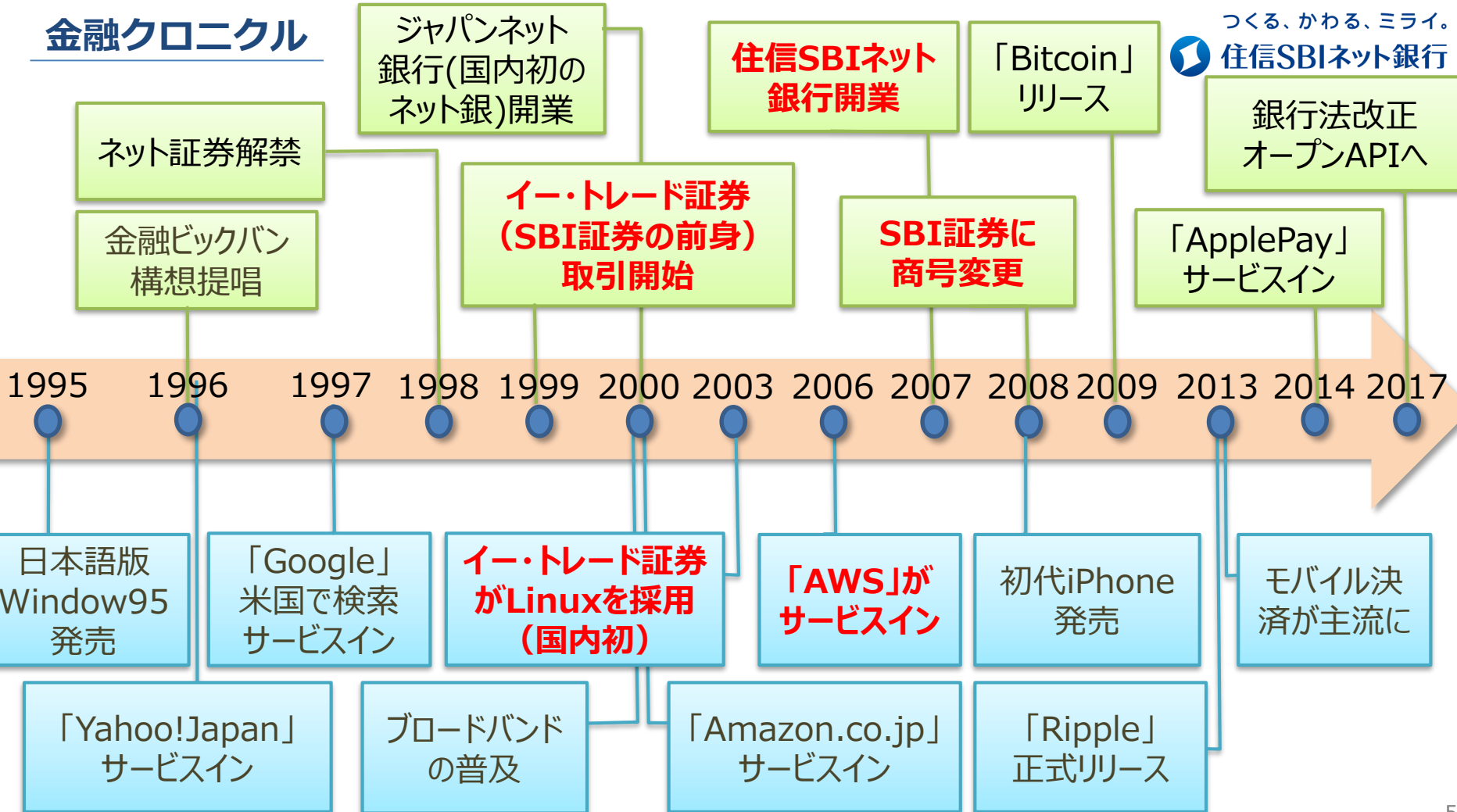
住信SBIネット銀行

金融クロニクルと当社の源流

金融クロニクル

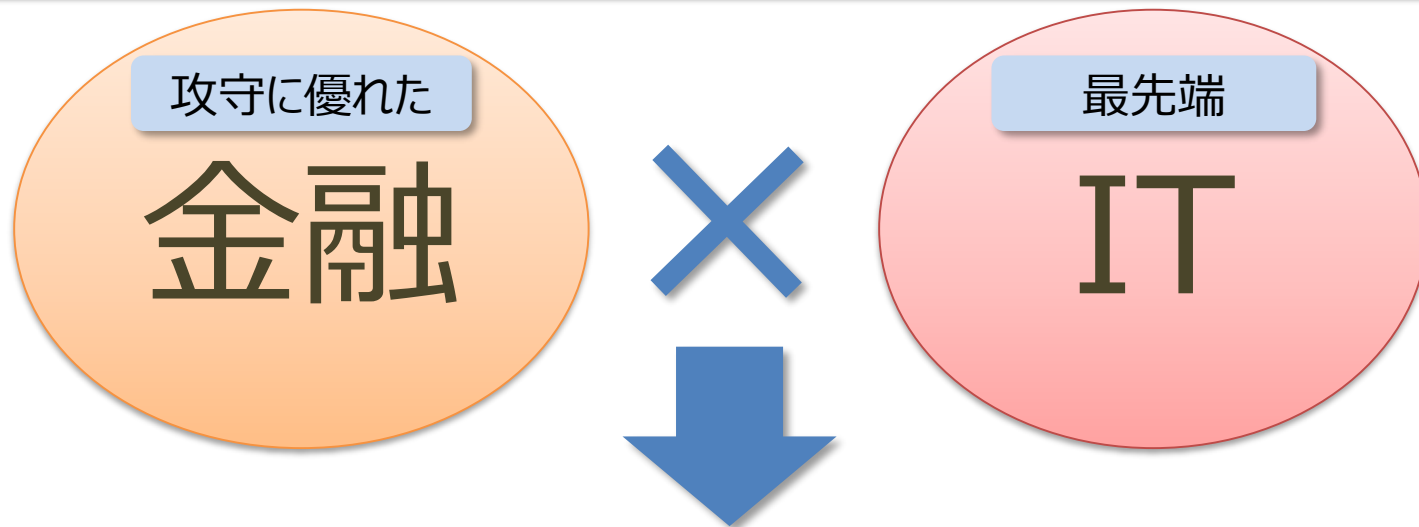
つくる、かわる、ミライ。

住信SBIネット銀行



ネット証券解禁時からネット専業として参入したSBIグループ（**IT×攻めの金融DNA**）と
長年培った金融のノウハウを持つ三井住友トラストグループ（**堅実な金融DNA**）

とのシナジー



これまでの金融の常識にとられない
新しい価値の創造

つくる、かわる、ミライ。



住信SBIネット銀行

住信SBIネット銀行の商品・サービス

住信SBIネット銀行口座とSBI 証券口座の連動が実現

これまで**手動**で行なっていた証券口座と登録銀行口座間の入出金指示作業は**不要**に



入金

出金

提携メガバンク各社
提携インターネット銀行各社

指定銀行口座

口座からの引出しは
「翌営業日」又は「翌々営業日」

自動
スweep

自動で買付
余力に反映

住信SBIネット銀行
SBI Sumishin Net Bank

SBI ハイブリッド預金

株式等の売却資金は受渡日「**当日**」から引出し可能
さらに **信用取引の余裕資金を銀行預金として運用可能**

スマートフォンを使って取引の承認や、当社サイトへのログインにロックをかけることができる無料のセキュリティサービス

約3分で登録完了!安心・便利なセキュリティサービス



スマート認証

- ・スマートフォンをお持ちならだなたでもご利用になれます。
- ・ご利用は無料です。



累計60万
ダウンロード達成!



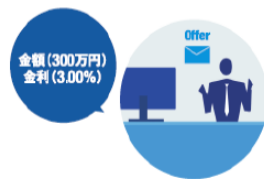
2016年12月から、ネストエッグ社（インフキュリオングループ子会社）による自動貯金アプリ「finbee」に対して、**国内初の更新系APIの提供を開始**



UI/UXに特化したフロントサービスの提供により、新規顧客の獲得および顧客ロイヤリティの向上・顧客接点強化による口座活性化を狙う

中小企業向けの最短即日融資が可能なトランザクションレンディング (商品名：事業性融資 dayta) を2016年10月に開始 *2019年5月に商品名を変更

書類提出や面談、保証人・担保不要で、日々の取引データ (口座の入出金や決済データ) から借入条件をお知らせする、**邦銀初(*1)のレコメンド型(*2)** 融資



借入条件を
毎月お知らせ

借入条件を毎月お知らせします。
(※3)
今、いくら借りられるかが分かるので、資金繰り不安が解消され、経営に安心感が出ます。



書類準備および
面談不要

daytaを利用して、事業性融資のお借入れをする場合、決算書等の書類準備や銀行員との面談は必要ございません。
お借入れまでにかかる手間がないので、本業に集中することができます。



ネットで
最短当日借入

借入手続きもインターネットで完了します。また、最短で借入手続き当日にお借入れいただけます。(※4)
急に借入需要が発生した場合でも、簡単にお借入れすることができます。

※1：2018年7月時点、住信SBIネット銀行調べ

※2：レコメンド型のトランザクションレンディングでは、お客さまは日々の取引データを元に、金融機関からインターネット上で、借入条件のお知らせを受けることができます。

※3：借入条件のお知らせは、当行所定の条件を満たした方にお知らせしています。また、お知らせする借入条件はお客さま毎に異なります。

※4：2019年1月時点での実績であり、借入手続き当日の借入を保証するものではありません。

Ripple社が提供するブロックチェーン技術を用いて、24時間365日いつでも手数料無料で
銀行口座から銀行口座へ直接送金、即着金を実現したアプリを2018年10月リリース

【特徴】

- ・24時間365日いつでも、**手数料無料**で個人間送金が可能
- ・銀行口座間での送金なので、**チャージは不要**
- ・アプリ起動・送金時の認証は指紋認証で**ユーザーフレンドリーな設計**
- ・**電話番号・QRコードで送金可能**なので、口座番号は不要
- ・相手がアプリを持っていないとも**送金可能**



いつでも一瞬で送金→着金

送金は24時間365日いつでもリアルタイムに利用できます。相手口座へもその場で着金。



送金はスマート・シンプル

アプリの起動時、送金時の認証は、指紋認証等で、シンプルな送金体験を実現しました。



電話番号、QRコードで送金

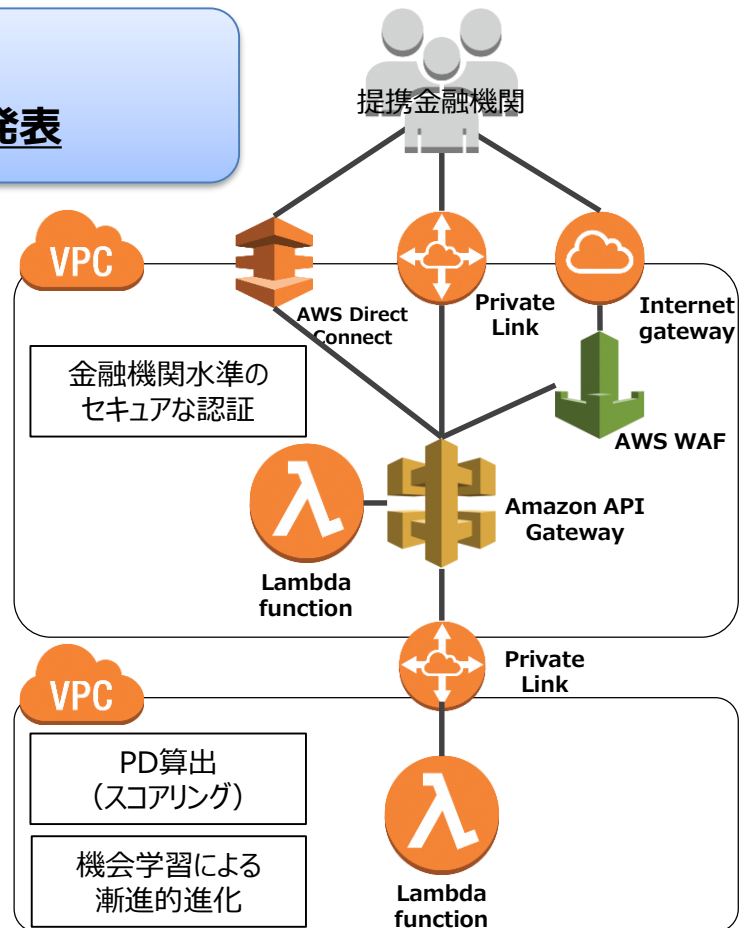
送金するのに相手の口座番号を知る必要はありません。QRコードや電話帳から送金相手を選ぶだけ。



AI審査の金融機関向け提供（2019年～）

日立製作所と共同で、AI審査サービスを提供する新会社 「Dayta Consulting株式会社」を設立 2019年5月30日発表

- 【サービス概要】
- 1 AI審査モデルでPDを算出し金融機関に提供
 - 2 ローン商品の与信状況に係るモニタリング業務
 - 3 与信戦略構築に係るコンサルティング など
- PD : Probability of Default 債務不履行の確率





つくる、かわる、ミライ。

住信SBIネット銀行

住信SBIネット銀行のインフラストラクチャーの変遷

2007～

2012～

2017～

2019～

開業

物理（オンプレ）

仮想化（オンプレ）
※部分的なクラウド利用

全面的なクラウド移行
（～2020年）

クラウドネイティブ化

全国6か所のデータセンターでシステムが稼働。

1 G

仮想化によってデータセンターを6か所⇒4か所に集約

個人情報を持たないシステムでのAWS利用開始

2 G

全面的なクラウドシフトを意思決定

↓
すべてのシステムをオンプレミスからクラウドに移行

3 G

コンテナ
サーバレス
マイクロサービス

4 G

要素

オンプレ時の課題とAWSによる変化



品質

業務継続性
セキュリティ

稼働効率の低い災対環境にコストがかかる。また、セキュリティ対策の負荷が高い。

⇒AWSによって、安価に災対要件を充足させ、
素早くセキュリティサービスを利用することが可能



俊敏性

ビジネスの
加速

Fintechに代表される外部環境変化により、開発期間が短く、試行
錯誤型のサービスが増大。開発スピードの向上が求められるように。

⇒AWSに移行することで開発期間短縮（4カ月⇒1.5カ月）



人

ワークロード
最適化

インフラ、非機能に付随する対応（障害対応、キャパシティ管理、性能管理）、
定期サイクルで生じる基盤更改対応等、イノベーションや顧客体験に結びつかない
業務に相当数の人的資源が消費されている。

⇒AWSによってOS以下の管理から解放



コスト

コスト
最適化

最大需要を見越したIT投資が必要。

⇒AWSによって、必要な時に必要なリソースの調達が可能



“ほぼすべてのシステムをAWSに”
～2017/08/25 取締役会付議～



つくる、かわる、ミライ。

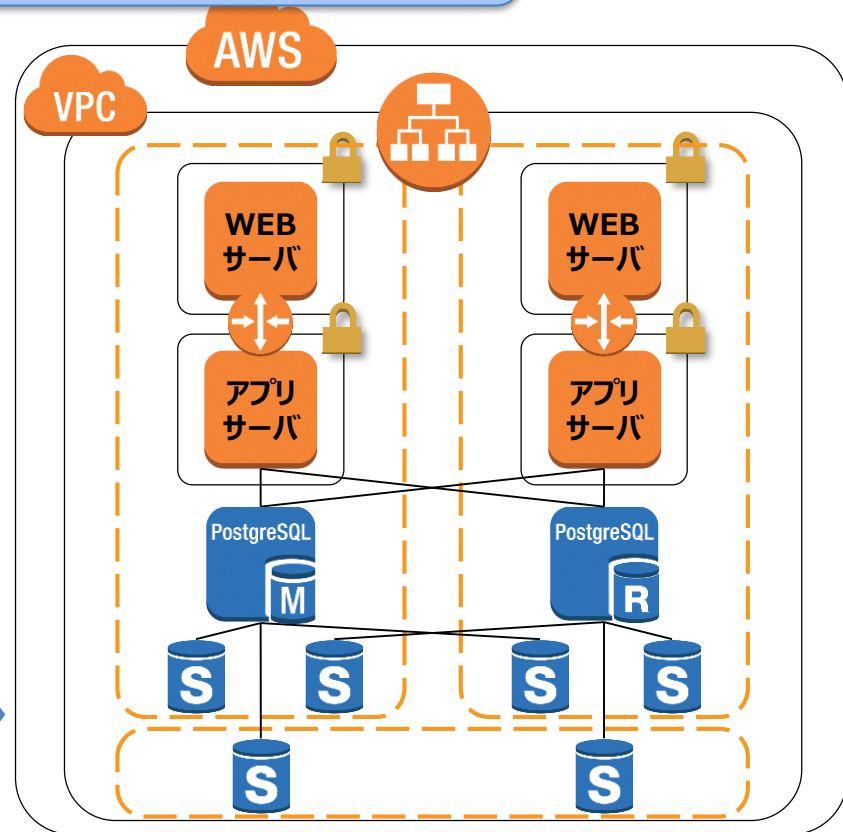
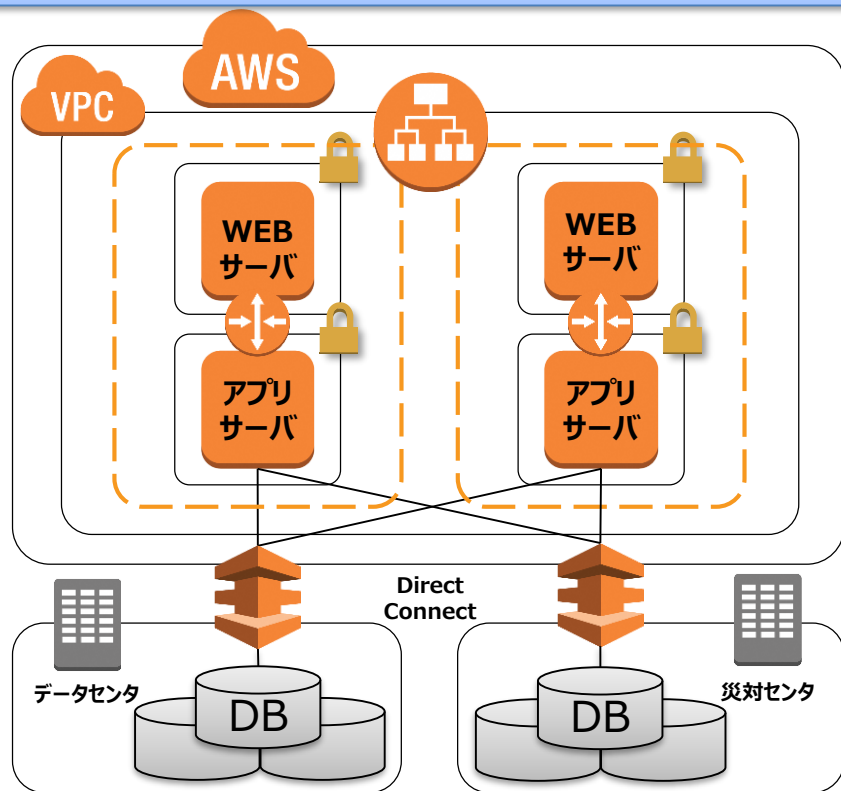
住信SBIネット銀行

事例1.インターネットバンキングシステムのAWS移行

(基幹系DBにAurora PostgreSQL Compatibility採用は邦銀初)

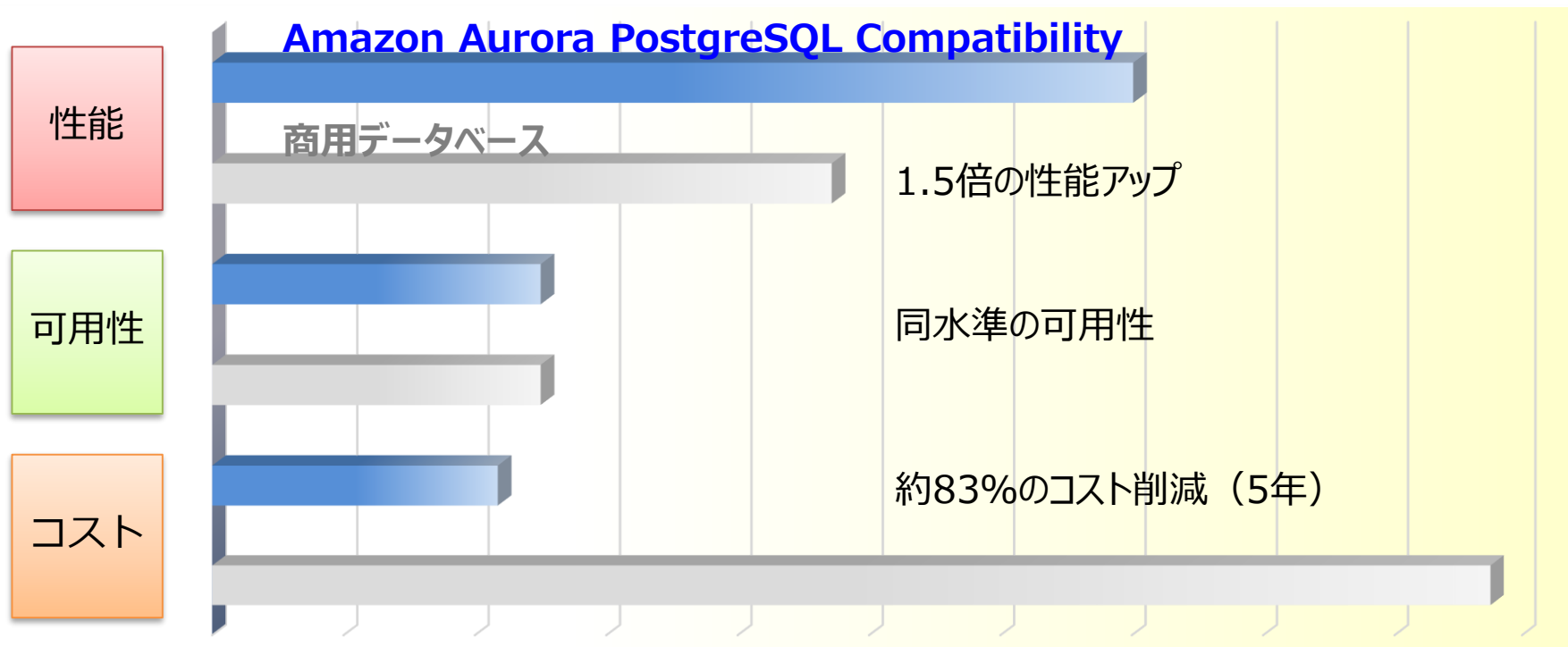
事例1.インターネットバンキングシステムのAWS移行

インターネットバンキングシステムのDBサーバ群をオンプレミスから
Aurora PostgreSQLにマイグレーション。(2020/02)



事例1.インターネットバンキングシステムのAWS移行

現行の商用データベースと性能・可用性・コストを比較し、全項目で同等以上の評価となった。
特にコストの削減効果については5年で83%減と、移行の初期費用を十分に回収できる見込み。





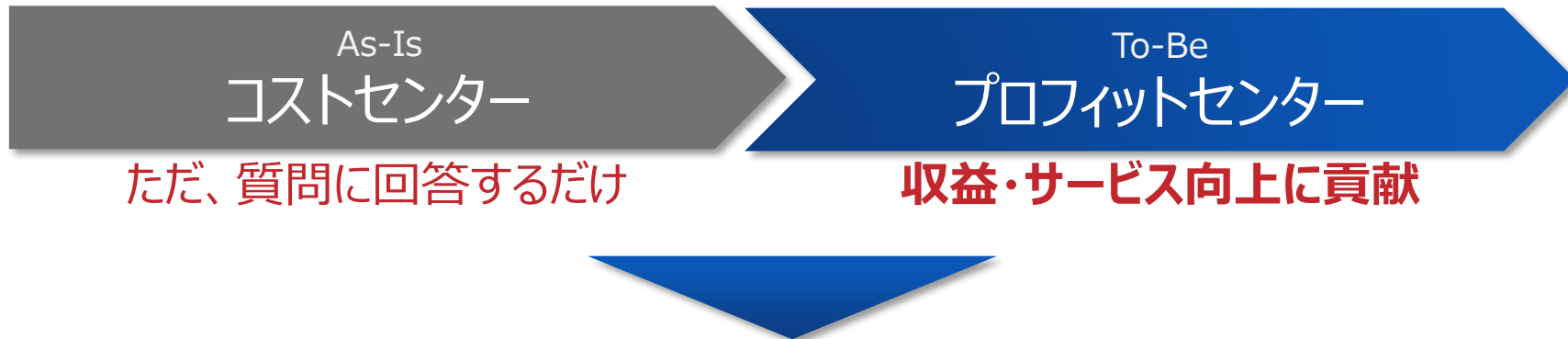
つくる、かわる、ミライ。

住信SBIネット銀行

事例2.コンタクトセンターのフルクラウド化

(コンタクトセンターのフルクラウド化は邦銀初)

お客さま接点として目指すもの



多様化する顧客ニーズに対して
より一層の**高品質なCXの提供**が重要

- ✓ デジタルコネクト強化（オムニチャネル）
- ✓ 顧客情報の一元管理
- ✓ 顧客ニーズ・期待値ギャップの把握（VOC集積・分析）
- ✓ CX向上に向けた改善施策立案

テクノロジーとして目指すもの

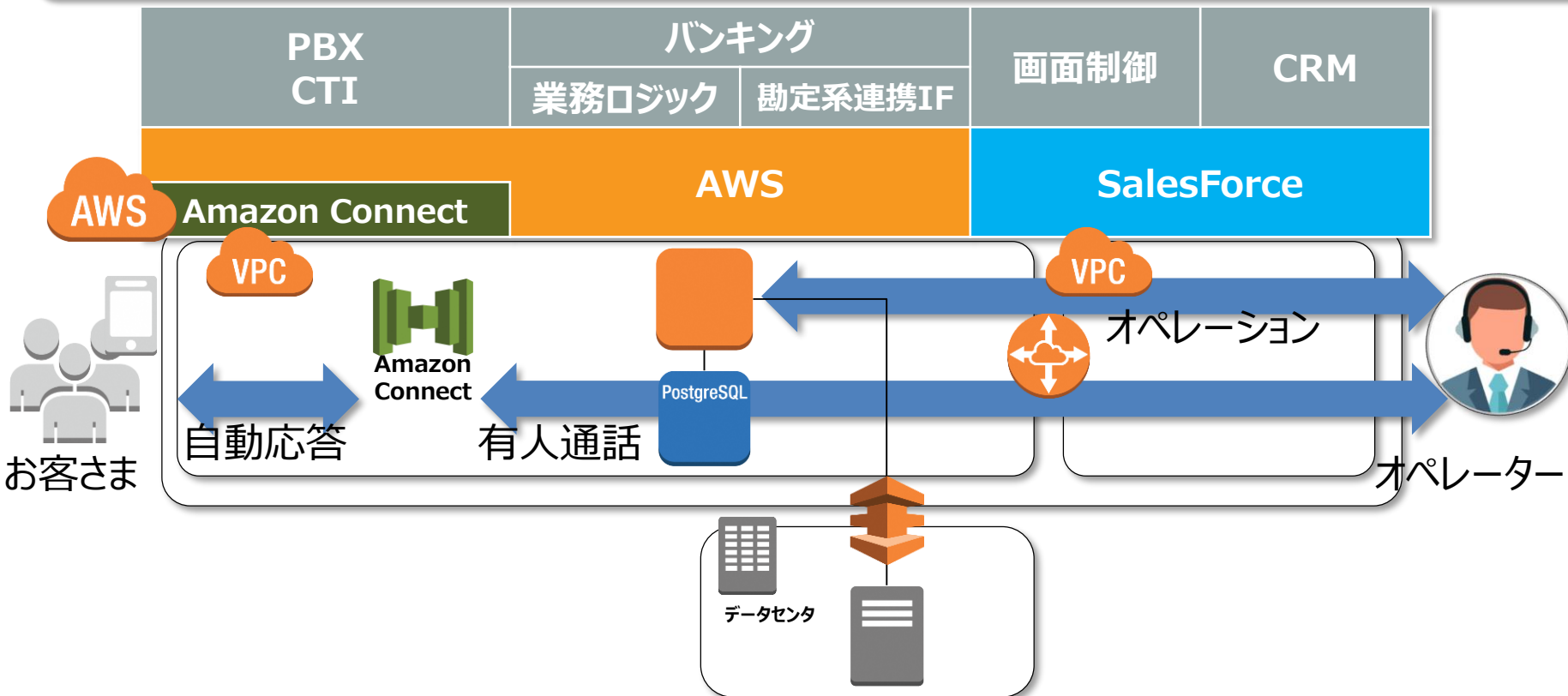


日々変化する顧客ニーズに対して
低コストかつスピーディーなサービス提供が重要

- ✓ IT維持コストの削減
- ✓ 顧客体験価値の最大化（オムニチャネル）
- ✓ 顧客情報の一元管理
- ✓ 最先端テクノロジーの活用

事例2.コンタクトセンターのフルクラウド化

自動応答の経路設定を自由に変更できる点や他システムとの柔軟な連携に強み
今後さまざまなサービスを展開する上で、サポート体制の早期構築が可能となる





つくる、かわる、ミライ。

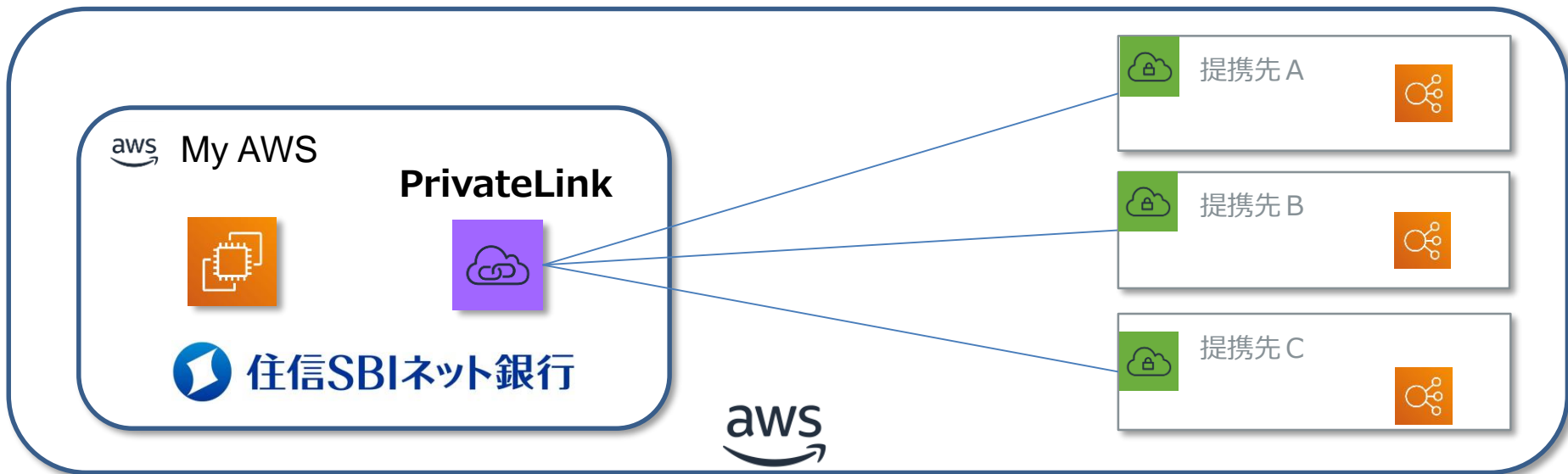
住信SBIネット銀行

事例3.PrivateLinkの採用

(PrivateLinkでの提携先連携は邦銀初)

事例3.PrivateLinkの採用

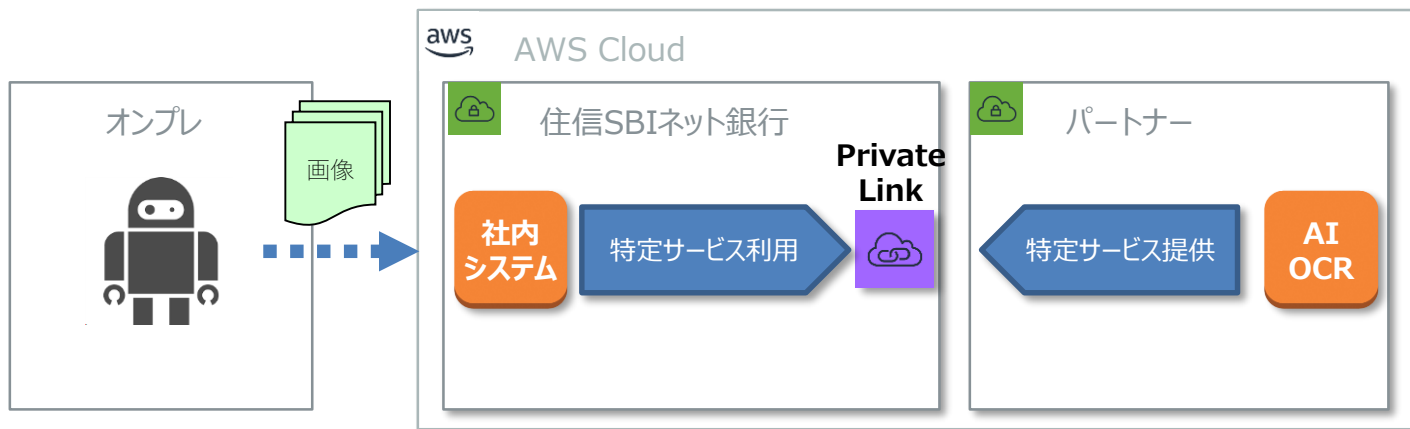
AWSを利用している他社環境とセキュアかつ高パフォーマンスで接続
当社では手書き申込みのAIOCR処理連携や為替レート連携などで利用。
専用線接続と比較してコスト80%の削減、2か月の構築期間が1日に短縮。



事例3.PrivateLinkの採用

銀行の申込書類の登録業務を完全自動化
ネットワークコストは従量課金で80%を削減、開通リードタイムは数分。

2018年11月リリース



最低限の初期投資

最短のリードタイム

フル自動化(RPA)



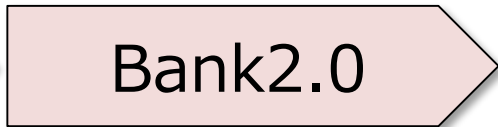
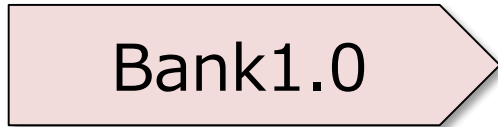
10th anniversary site

さよなら、

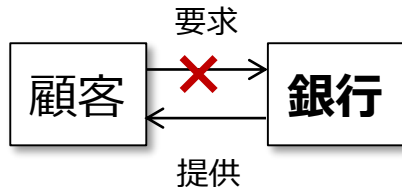
銀行。

～住信SBIネット銀行の事業戦略～

従来型銀行

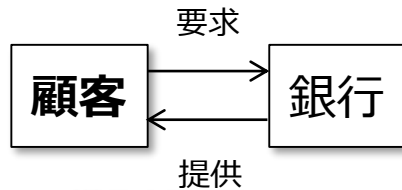


支店に訪問



銀行業務提供時間
や場所は銀行が決定

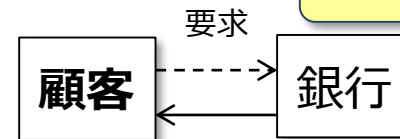
ネットにアクセス



顧客の要求に対して
銀行が顧客へタイム
リーにサービス提供

銀行がニーズを予測

+ Fintech



事前に予測して提供



顧客からの要求がなくても、
銀行が顧客のニーズを予測
してサービスを提供



つくる、かわる、ミライ。

住信SBIネット銀行

Bank 3.0の先にあるもの

モノからコト

第一フェーズ

リアル店舗のフェードアウト

第二フェーズ

「バンク」のフェードアウト

当社の事業戦略

第三フェーズ

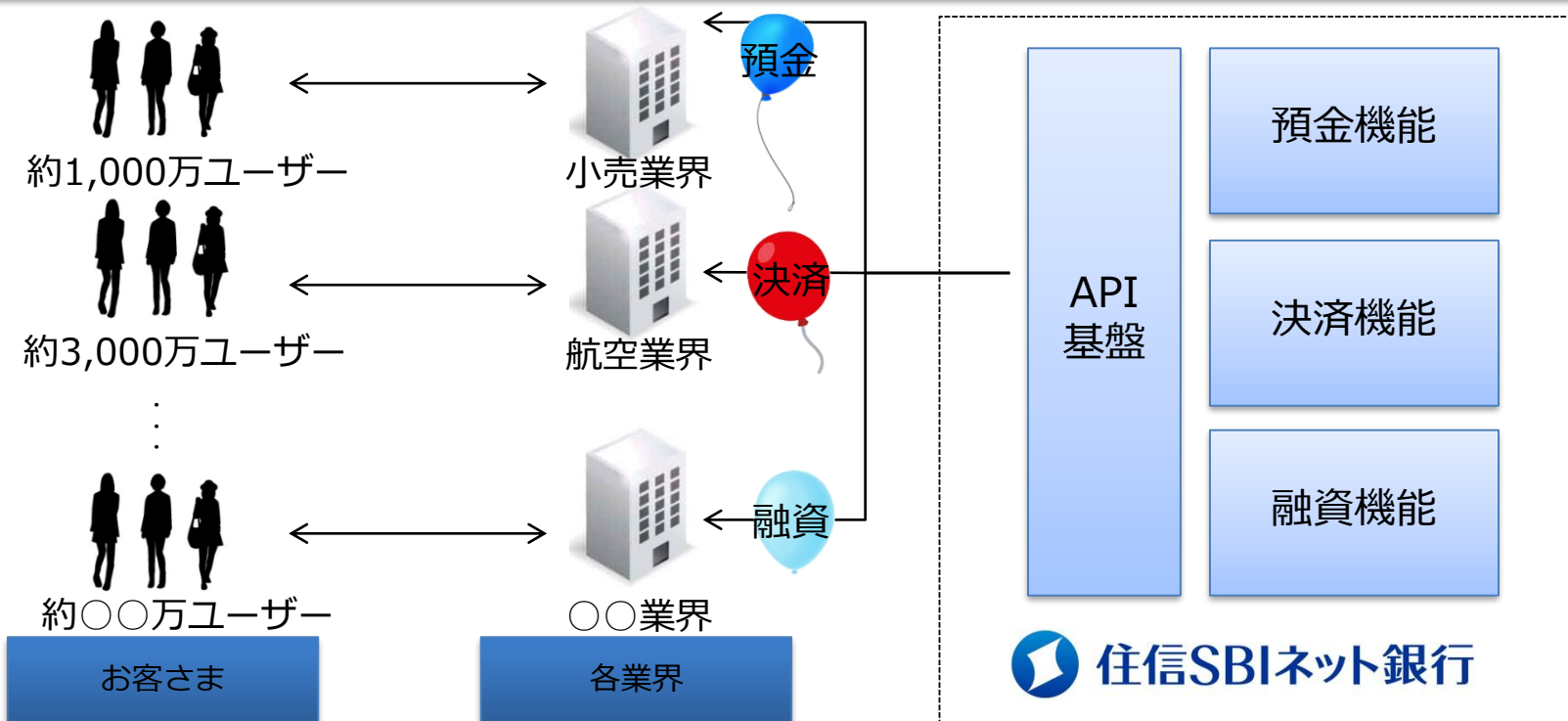
「バンキング」と生活の一体化

生活サイクルの中で「バンキング」を
意識することがない
(フリクションレスバンキング)

当社の金融インフラ群を有効活用した新たな取組み

→ **NEO BANK®** ~Banking as a Service(BaaS)~

API基盤を通じて必要な機能だけを提携先のサービスに融合



照会

残高照会

為替レート照会

入出金明細照会

本人確認

口振

振込

総合振込

融資

レンディング

AI審査

住宅ローン申込み

カードローン

預金インフラ

- ▶ 顧客ニーズに合わせた豊富なサービス提供

■ 提供機能例



銀行本体アプリ



自動家計簿



自動貯金「finbee」



おつり貯金「しらたま」



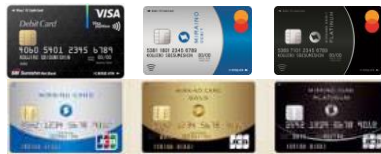
おつり投資「マメタス」



Amazon Alexaスキル

決済インフラ

- ▶ 各種カード事業を本体提供
デビット、クレジット、プリペイド、ハウスカード各種カードを発行可能



- ▶ 各国際ブランドライセンス



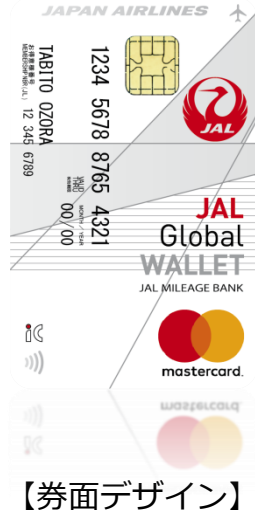
- ▶ 加盟店決済インフラを支えるアクワイアリング事業

融資インフラ

- ▶ データレンディング
- ▶ ネット銀行No.1実績を誇る住宅ローン
- ▶ 日本最先端のAIスコアリングモデル
- ▶ その他、カードローンほか各種融資機能

日本航空とジョイントベンチャー、JALペイメント・ポート(株)を設立 (2017年9月)

15通貨を取り扱うプリペイドカードで、外貨両替をスマホで行い、その外貨を通貨毎に現地で利用・ATM引出しできる機能を有する。



複数通貨に両替可能

JPY 円

↓ ↑

GBP 英ポンド USD 米ドル

EUR ユーロ CNH 中国元

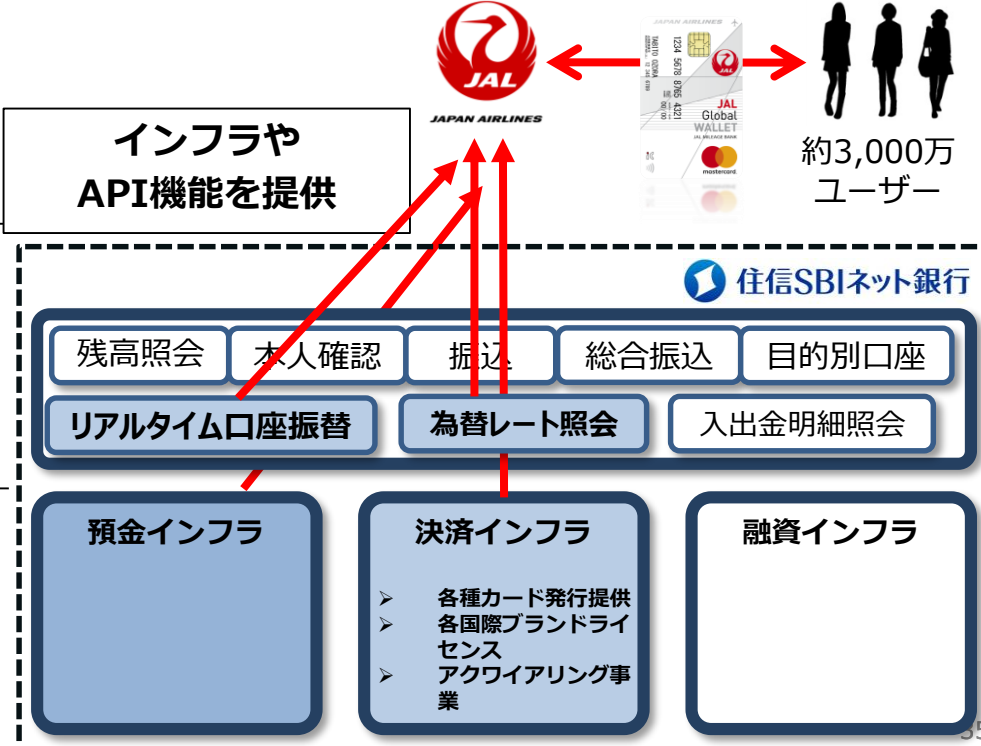
- 【商品の特徴】
- ✓ 海外の利用では自動的に
 - ✓ 現地通貨で支払

スマホで簡単操作

- ✓ スマホで銀行口座やクレジットカードからのチャージが可能
- ✓ スマホでいつでも両替可能

多様な決済シーンに対応

- ✓ 世界中のMaster加盟店で利用可能
- ✓ 非接触決済にも対応
- ✓ 海外ATMで現地通貨の引出可能





10th anniversary site

さよなら、

銀行。

口座開設はこちらから



住信SBIネット銀行



つくる、かわる、ミライ。

住信SBIネット銀行

ご清聴ありがとうございました。